

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	九州総合スポーツカレッジ	H	○6-0	九州サッカーリーグに関係する皆様、リーグ開幕おめでとうございます。 今シーズンは、昨シーズンの悔しさから学ばせていただき、1月の早い段階からいい準備ができ開幕を迎えることができました。 開幕戦では、昇格してきた九州総合スポーツカレッジとの試合でした。 開始から押し込む時間帯が長く続きましたが、相手のGKのスーパーセーブやゴールギリギリのところでクリアをするDFなど中々1点が遠かったですが、前半に3点、後半にはスーパーゴールを含む3点を決めることができ、開幕戦を勝利することができました。
2	KAJIKI F.C.	A	○6-0	2節も昇格してきたKAJIKI FCとの試合では、昨日の反省からもう一段階ギアを上げて球際、運動量、切り替えを意識させ試合を行い6得点することができました。 まだまだ成長段階のチームですので、一戦一戦、一日一日大事にリーグを戦っていければと思っております。 最後に運営していただいた大分県サッカー協会をはじめとします大分県所属のチームの皆様、審判団、ボールパーソンの皆様、ありがとうございました。 感謝の気持ちを忘れずともにリーグ運営をできればと思っております。
3	川副クラブ	H	○2-0	第3節は、ホーム開幕戦ということもありクラブ内でも重要な位置付けの一戦でした。 開始から多くのチャンスを作りますが、川副クラブのGKを含め守備陣が非常にタフで中々得点できませんでした。 後半に入ってから川副クラブ守備陣の集中力は高く、引き分けも頭をよぎりましたが何とか選手たちが2点もぎ取ってくれました。 本日は、多くの来場者、出店店舗、ボランティアスタッフの支えのおかげで勝ち点3が取れたのかなと思いました。 対戦していただいた川副クラブの皆様、審判団の皆様、運営してくれたアカデミースタッフ、選手をはじめボランティアスタッフの皆様、ありがとうございました。
4	日本製鉄大分	A	○2-0	日本製鉄大分サッカー部さんとの第4節はアウェイでの試合となりました。非常に強固な守備のチームで難しい試合になると思い試合に挑みました。 開始から押し込む時間帯が長くありましたが、相手GKを含めた強固な守備にチャンスを作れず前半を終了しました。 後半からより攻撃的な布陣でいくも日本製鉄大分サッカー部さんの守備を崩すことができずに時間だけが過ぎていきましたが、残り15分のところで何とか先制点が取れ、ロスタイムにも追加点を取ることができ勝点3を積み上げることができました。 難しい試合でしたが、最後まで諦めずに戦った選手たちを讃えたいです。 対戦していただいた日本製鉄大分サッカー部様、大分県サッカー協会様、審判団様、運営して下さった皆様ありがとうございました。
5	KMGホールディングス	H	○1-0	ホーム2戦目はKMGホールディングスFCさんとの対戦でした。 前半からチャンスを作るものの相手GKのスーパーセーブが何度もありまたカウンターにて危ない場面を作るなどヒヤヒヤした前半でした。 後半も前半同様中々KMGさんのゴールをこじ開けられずにいたが何とか得点することができました。 シュートも26本放ちますが1得点のみとなりました。次戦に向け課題を修正し、日々成長していきたいと思えます。 KMGホールディングスFCの皆様、審判団の皆様、ボランティアスタッフ、アカデミーメンバーのみんな本日はありがとうございました。
6	Brew KASHIMA	A	△0-0	アウェイ鹿島の地での第6節は、前節よりメンバーを若干入れ替えての試合でした。 押し込む展開が続くも、相手GKのファインセーブなど中々ゴールが生まれません。直近のゲームでの課題が出た試合でした。 この課題は、トレーニングで精度を上げていきたいです。しかしながら守備陣は今節も失点0だったことは評価したいと思います。 素晴らしい雰囲気の中試合ができました。運営していただいた皆様、審判団、Brew KASHIMAの皆様ありがとうございました。
7	NIFS KANOYA FC	H	○4-1	NIFS KANOYAさんの強度ある守備に対して、前半から攻めあぐねましたが、前半で2得点出来たのが勝利の要因ではありました。 ただ、NIFS KANOYAさんの攻守の切り替えの速さや、強度ある守備は我々も見習うべき所がありました。 次節からの集中開催に向けて、今節出た課題を克服し、良い準備をして挑みたいと思えます。 また、審判団の皆様、ホームゲーム運営に携わって頂いた全ての方々、後押しして頂いたサポーターの皆様感謝を申し上げます。

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
8	ジェイリースFC	A	●0-2	<p>第8節はジェイリースFCさんとの試合でした。</p> <p>ゲームの入りは良かったのですが、PK失敗から徐々に相手ペースになり耐えきれずに失点。</p> <p>システムを変え反撃に挑むも中々主導権の握れない状況が続き、後半に失点し0-2で敗戦しました。</p> <p>ジェイリースFCさんのこの1試合にかける思いの強さを感じた試合でした。</p> <p>第9節はヴェロスクロノス都農さんとの宮崎ダービーでした。昨日の敗戦から切り替え連敗しないように挑んだ一戦でした。</p>
9	ヴェロスクロノス都農	H	○2-0	<p>球際・切り替え・クオリティを追求しプレーした結果、勝ちが転んできました。</p> <p>この2日間で多くの課題と学びを得ました。今回出た課題を日々のトレーニングで改善していきます。またプレー以外の部分でもチームとして質を追求していきます。</p> <p>対戦していただいたジェイリースFCさん、ヴェロスクロノス都農さん、審判団の皆様、運営をしていただいた皆様、ボールパーソンをしていただいた皆様、本当にありがとうございました。</p>
10	九州総合スポーツカレッジ	A	○10-0	<p>第10節は、九州総合カレッジさんとの試合でした。</p> <p>前半は中々攻撃がうまくいかず、それでも先制点をあげてよかったです。</p> <p>後半は、交代で入った選手が活躍し9得点することができました。最後までゴールを目指す姿勢でプレーした選手を讃えたいです。</p> <p>第11節はKAJIKI FCさんとの試合でした。</p>
11	KAJIKI F.C.	H	○4-1	<p>前半から攻撃的に仕掛け2点を奪うことができ後半も2点を追加することができましたが、最後の質の部分で課題の出た試合でした。</p> <p>この集中開催にてでた課題をチームで取り組み成長していきます。</p> <p>2日間を通して、運営していただいた皆さま、審判団の皆さまありがとうございました。対戦していただいた、九州総合カレッジさま、KAJIKIさまありがとうございました。</p> <p>遠方まで応援に駆けつけていただいた皆さまのおかげで2連勝することができました。ありがとうございました。</p>
12	川副クラブ	A	○3-0	<p>第12節は、川副クラブさんとの対戦でした。前期は強固な守備を中々崩せず苦労したのでしっかりと準備して挑んだ一戦でした。</p> <p>試合は序盤から押し込む展開が増えましたが、相手GKの素晴らしいセーブで1点が遠い展開でしたが、セットプレーから2得点でき更に追加点を入れ3-0で勝利することができました。</p> <p>セットプレーで得点できたという収穫はありましたが、チームとしての課題も全体で共有できたので、トレーニングから修正していきたいです。</p> <p>運営していただいた、川副クラブさま、ボールパーソンの皆さま、審判団の皆さまありがとうございました。</p> <p>現地、速報で応援いただいたサポーターの皆さまもいつもありがとうございました。</p>
13	日本製鐵大分	H	△1-1	<p>ホーム開催の中で、たくさんの延岡の方々が会場に足を運んで頂きました。</p> <p>警戒はしていたのですが、前半終了間際セットプレーで失点をし、その後も押し込む中で苦しい展開が続きました。</p> <p>ロスタイムで一点は取り返しましたが、時間が足りず引き分けに終わりました。来ていただいた方々へ、勝利するところをお見せできず非常に残念に思います。</p> <p>チームとしての課題を克服できるように、次節に向けて1週間準備したいと思います。</p>
14	KMGホールディングス	A	○7-0	<p>前節引き分けたことから、この1週間より得点を意識したトレーニングを行ってきました。</p> <p>試合は、非常に気温が高く選手は厳しい状況でしたが、一人一人がとてもハードワークをしてくれ、前半に3得点、後半に4得点あげることができました。</p> <p>ピンチもありましたが守備陣が体を張った守備と運もあり失点0でゲームを締めることができました。</p> <p>しかしながら課題も多く見つかりましたので、またトレーニングから改善と成長をしていきたいです。</p> <p>対戦していただいたKMGホールディングスFC様、審判団の皆様、運営をしていただいた皆様、ボールパーソンの子も達、本当に暑い中ありがとうございました。</p> <p>心より感謝申し上げます。</p>

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
15	Brew KASHIMA	H	○3 - 0	ホーム開催の中で、たくさんの延岡の方々が会場に足を運んで頂きました。 前半の早い時間帯で得点ができ、その後も追加点を取れましたが、Brew Kashimaさんのビルドアップに苦戦し、危ない場面もありました。 課題が見えた試合ではありましたが、ホーム最終節で勝利する事ができ、ファン・サポーターの皆様の日頃の感謝を伝える事ができました。 チームとしての課題を克服できるように、次節に向けて1週間準備したいと思います。
16	NIFS KANOYA FC	A	○2 - 1	第16節は、NIFS KANOYA FCさんとの試合でした。前節からシステムを変え、前半から果敢に攻め込みましたが、ゴール前での精度を欠きました。 後半、NIFS KANOYAさんに失点を許すこととなり、守備から攻撃への切り替えの速さや、好機を逃さない姿勢は我々も見習うべき所がありました。 次節からの集中開催に向けて、今節出た課題を克服し、良い準備をして挑みたいと思います。 また、NIFS KANOYA FCの皆様、試合運営に携わって頂いた皆様、審判団の皆様、後押しして頂いたサポーターの皆様に感謝を申し上げます。
17	ジェイリースFC	H	△3 - 3	第17節はジェイリースFCさんとの試合でした。 ゲームの入りは良く2点先制することができたのですが、徐々に相手ペースになり耐えきれずに前半のうちに同点とされてしまいました。 後半も中々主導権の握れない状況が続き逆転を許してしまいますが、試合終了間際に同点し3 - 3の引き分けとなりました。 第18節はヴェロスクロノス都農さんとの宮崎ダービーでした。 昨日の時点で優勝の可能性はなくなりましたが、切り替え積極的に戦おうと臨んだ一戦でした。
18	ヴェロスクロノス都農	A	△1 - 1	FKで先制されるも、試合終盤に同点に追いつき1 - 1の引き分けとなりました。 全日程を終え2位となり優勝には至りませんでした。次へ切り替え日々のトレーニングでチームとして成長していきます。 対戦していただいたジェイリースFCさん、ヴェロスクロノス都農さん、今回の宮崎県集中開催を運営していただいた皆様、審判団の皆様、ボールパーソンをしていただいた皆様、そして、最後まで大きな声援を送ってくださったサポーターの皆様、本当にありがとうございました。 また、1年間各チームの皆様、運営していただいた皆様、審判団のお陰で無事にシーズンを終えることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。